

# 愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2024年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	日本文化論		
担当者(Instructors)	押山 美知子	配当年次(Dividend year)	1
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

<b>■授業の目的と概要(Course purpose/outline)</b>			
<p>日本のアニメは『鉄腕アトム』が日本初のTVアニメとして1963年からフジテレビ系列で放映されて以降、マンガと密接な関係を持ち続けてきました。本講義では、日本の少女マンガの歴史の中で根強い人気を保ち続けてきた〈男装の少女〉を描いた少女マンガを原作とするTVアニメ作品を取り上げ、〈男装の少女〉のヒロインを中心にジェンダー批評の観点から作品分析を行います。〈男装の少女〉という特徴的なキャラクターが、アニメとマンガでそれぞれどのように表現されているのか、その違いに着目することで、アニメとマンガの表現の差異について考察してみましょう。マンガのTVアニメ化に伴う様々な事象（グッズ展開、マンガとのコラボ企画、ファンの反応等）に触れながら、マンガをアニメにすることの意義について学習します。</p>			

<b>■授業形態・授業の方法(Class form)</b>	
授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	アニメ視聴と講義を組み合わせた回とPowerPointを用いた講義の回を概ね交互に実施します。毎回プリントを配布します。

<b>■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)</b>			
回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	授業案内／少女マンガとTVアニメ	日本のアニメの成り立ちに触れ、少女マンガのTVアニメ化の変遷について学びます。	□
第2回	アニメのジェンダー批評について	アニメはジェンダー批評の観点からどのように論じられてきたのかを学習します。	□
第3回	『リボンの騎士』（1）〈男装の少女〉の出发点	少女マンガを原作とするTVアニメの黎明期の作品である『リボンの騎士』を取り上げ、〈男装の少女〉の主人公・サファイアについて考察します。	□
第4回	『リボンの騎士』（2）原作からの乖離	TVアニメと原作マンガの『リボンの騎士』をサファイアの描写を中心に比較検討します。	□
第5回	『ベルサイユのばら』（1）〈男装の少女〉の展開	七〇年代を代表する〈男装の少女〉であり、戦うヒロインであるオスカルを主人公とする『ベルサイユのばら』を取り上げ、オスカルについて考察します。	□
第6回	『ベルサイユのばら』（2）アニメとマンガのオスカルの違い	TVアニメと原作マンガの『ベルサイユのばら』をオスカルの描写を中心に比較検討します。同じ〈男装の少女〉であるサファイアとの違いを学習します。	□
第7回	『少女革命ウテナ』（1）進化する〈男装の少女〉	九〇年代を代表する〈男装の少女〉であり、戦うヒロインである天上ウテナを主人公とする『少女革命ウテナ』から『アドゥレセンス黙示録』を取り上げ、天上ウテナについて考察します。	□
第8回	『少女革命ウテナ』（2）戦うヒロインの多面性	アニメとマンガの『少女革命ウテナ』を天上ウテナの描写を中心に比較検討します。九〇年代に登場した〈男装の少女〉であるウテナがオスカルやサファイアとどのように異なるかを学習します。	□
第9回	『BASARA』（1）戦う〈男装の少女〉の変容	ウテナと並び九〇年代を代表する〈男装の少女〉である更紗を描いた『BASARA』を取り上げ、九〇年代の戦う〈男装の少女〉について考えます。	□
第10回	『BASARA』（2）原作踏襲アニメの可能性	TVアニメと原作マンガの『BASARA』を更紗の描写を中心に比較検討します。	□
第11回	『桜蘭高校ホスト部(クラブ)』（1）学園ものにおける〈男装の少女〉	ゼロ年代を代表する〈男装の少女〉であるハルヒを描いた『桜蘭高校ホスト部』を取り上げ、学園ものにおける〈男装の少女〉の特徴について考察します。	□
第12回	『桜蘭高校ホスト部(クラブ)』（2）学園もの〈男装の少女〉のメディアミックス展開	TVアニメと原作マンガの『桜蘭高校ホスト部』をハルヒの描写を中心に比較検討します。	□

第13回	『かげきしょうじょ!!』(1) 演劇と〈男装の少女〉	一〇年代の作品である『かげきしょうじょ!!』を取り上げ、〈男装の少女〉を演じることについて考えます。	<input type="checkbox"/>
第14回	『かげきしょうじょ!!』(2) 2020年代のアニメにみる〈男装の少女〉	T Vアニメと原作マンガの『かげきしょうじょ!!』をさらさの描写を中心に比較検討します。	<input type="checkbox"/>
第15回	まとめ(試験含む)	少女マンガを題材とするT Vアニメに登場する〈男装の少女〉の変遷について総括し、試験を行います。	<input type="checkbox"/>

#### ■授業時間外学習(予習・復習)の内容(Preparation/review details)

・授業を受けるにあたっては、必ず事前にその日に扱うマンガ作品を読み、〈男装の少女〉の描写で気になった点をいくつか列挙できるようにしておくとい良いでしょう(2時間程度)。・授業後は配布レジュメに眼を通して授業を振り返るようにしてください。マンガを読み直すのも良いでしょう(1~2時間程度)。・アンケートが設定されている回はアンケートに積極的に回答し、作品に対する自分の意見をまとめておくようにしてください(1時間程度)。

#### ■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

・アンケートに寄せられた意見・感想は代表的なものを翌週に紹介し、それに対するリアクションを行います。質問があれば遠慮無く声を掛けてください。・中間テストは成績を告知し、コメントをつけて返却します。

#### ■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
主体性	◆ 2021地域ビジネスDP3	日本の少女マンガとT Vアニメにおいて〈男装の少女〉がどのように表現されてきたのか、その歴史の変遷を理解し、ジェンダー批評の観点から考察できる。

#### ■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験(in-class exam)	その他(Other)
			90%	10%

#### ■授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

学期末試験：(60%) 15回目の授業内に記述試験を行います(持ち込み可)。授業内容を踏まえた上で作品を深く読み込んでいるか、独自の観点から問題提起ができていないか、考察が論理的且つ説得力のある文章で書かれているかの3点から評価します。  
 中間試験：(30%) 実施時期は授業時に告知します。記述試験です(持ち込み可)。授業内容を踏まえた上で作品を深く読み込んでいるか、独自の観点から問題提起ができていないか、考察が論理的且つ説得力のある文章で書かれているかの3点から評価します。  
 その他：(10%) 回によって取扱い作品に対する意見・感想を書いてもらうアンケートを実施します。3段階(3・2・1)のポイント制で、意見・感想に独自性があるかに重点を置いて評価します。

#### ■テキスト(Textbooks)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN (ISBN)
1	手塚治虫『リボンの騎士 少女クラブ版』(手塚治虫文庫全集) 講談社、2011年2月 *Kindle版でも可	978-4063738216
2	池田理代子『ベルサイユのばら』(集英社文庫全5巻) 集英社、2009年8月 *Kindle版でも可	978-4086179195
3		
4		
5		

#### ■参考図書(references books)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN (ISBN)
1	小山昌宏・須川亜紀子編著『アニメ研究入門 [増補改訂版] -アニメを極める9つのツボ』現代書館、2014年9月	978-4768457399
2	津堅信之『新版アニメーション学入門』(平凡社新書) 平凡社、2017年2月	978-4582858365
3	山口康男編著『日本のアニメ全史 世界を制した日本アニメの奇跡』テン・ブックス、2004年5月	978-4886960115

4	トーマス・ラマルル著／藤木秀朗・大崎晴美訳『アニメ・マシーン グローバル・メディアとしての日本アニメーション』名古屋大学出版会、2013年5月	978-4815807306
5	押山美知子『[新增補版] 少女マンガ ジェンダー表象論-〈男装の少女〉の造形とアイデンティティ』アルファベータブックス、2018年1月	978-4865980509